

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 003号

実技指導者を目指して！

相原 伸さん

某製造業 人財開発部



【受講のきっかけ】

私は、今の会社で研究開発に長年従事していたのですが、数年前に突然辞令を受けて現在の部署に異動してきました。人財開発の業務がわからない中、若い社員と面談をするということが私の役割の一つとして与えられ、「傾聴のスキルを身につけた方がよい。そのために、産業カウンセラーの講座を受講している人がいる。」と上長から言われました。傾聴とはなに？と思いながらも、仕事で必要だからという理由で養成講座の受講を決めました。

【資格取得後の活動状況】

講座内容をろくに把握せず受講しはじめたのですが、学んでいく中で、自分を見つめ考えるとよい時間になっていると思うようになりました。そして、当初の目的であった会社の面談で傾聴を活かすというだけでなく、このような機会を多くの方々と共有し、一緒に学ばせていただくことで、会社を離れた場でも何か役に立てるのではないかという気持ちになり、養成講座の受講中から実技指導者になることを考えるようになりました。

養成講座受講後半から、会社の面談で、「話をできて良かった」、何回か継続した方から「もう大丈夫」と言われることがあります。嬉しい反面、自らを振り返ると知識が実践に結びついてなく、十分な応答ができていないと思っています。よりよい支援ができるよう研鑽を積んでいきたいと考えまして、実技指導者を目指して 2017 年から実技指導修習生として学びはじめ、今年の3月から2年次がはじまります。多くの指摘をいただくたびに、へこんだり悩んだりすることもしばしばですが、少しずつ歩みを進め、同期の修習生と切磋琢磨していきたいと思っています。

また、資格を活かして活動するには知識や経験などで大いに不安があり、学びを続けていく必要性を感じました。そこで次のようなことをしています。

●『新米カウンセラー向けカウンセリングカ u p 講座』の受講

養成講座を修了して半年あまり、講師から教える機会を持てていなかったので受講しました。基本を振り返る貴重な機会だったと同時に、産業カウンセラーの資格が、受講者同士の交流を容易にする共通の素地になっていることを実感する機会でもありました。

●『新シニア産業カウンセラー 育成講座』の受講

実践的な知識が身につくのではないかと考え受講しています。まわりの方々の知識や経験の豊富さに圧倒され、事前課題や修了レポートにも苦労していますが、グループ討議や実践的な内容も多く、大きな気づきを得るとも貴重な機会になっていると思っています。